

# 高等学校・地理 A・「自然環境と防災」①

## 育成を目指す資質・能力

我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解するとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察する。地形図やハザードマップなどの主題図の読図など、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付けるとともに、防災意識を高める。

## ICT活用のポイント

生徒一人一人が「なぜ『地形を知り、災害を知り、災害に備える』ことが大切なのか」などの問題意識をもち、問題解決の見通しをもった後、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする際に1人1台のICT端末を活用することで、学習活動の幅を広げることができる。

## 事例の概要

### ○「学習課題の解決に向けて必要な情報を収集する場面」において

生活圏の防災について、地域の自然環境や地域の変容などに着目し、多面的・多角的に考察する。汎用的な地理的技能として、『地理院地図』を活用する技能を高めるとともに、公的機関が提供するウェブサイトを活用し、信頼性の高い情報を収集する技能を身に付けることができる。また、生活圏における自然災害の危険を具体的に認識し、防災意識を高めることが期待できる。

### ○「学習を振り返って考察する場面」において

タイムライン作成シートをダウンロードし、単元の学習を通して身に付けた知識及び技能を基に、自分自身の生活と結び付けて災害時のタイムラインを作成する。取るべき対策についての議論を基に、具体的な防災対策について考えを深めるとともに、地域性を踏まえた防災の大切さについての理解を深めることができる。また、単元の学習を振り返り、地域の人々の防災に対する工夫や安全への強い思いについての理解を深め、自助・共助などの行動に結び付けることができるようにすることも視野に防災意識を高める。



# 高等学校・地理 A・「自然環境と防災」②

単元全体に関わる問い：「なぜ『地形を知り，災害を知り，災害に備える』ことが大切なのか」

【学習課題の解決に向けて必要な情報を収集する場面】



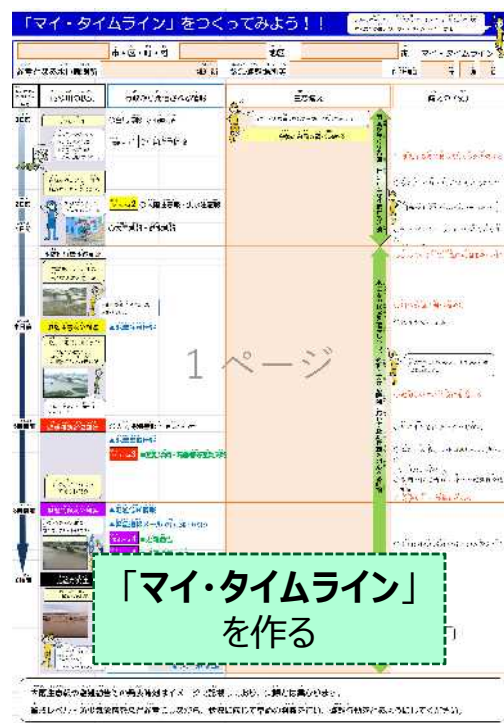
問い：「過去にどのような災害があったのだろう。また，水害が発生しやすいのはなぜだろう。」

- 『地理院地図』を使って，「自然災害伝承碑」の位置や地形の特徴などを調べる。

ICT活用のメリット

- 生徒の関心を高める資料の提示
- 信頼性の高い情報にアクセスする技能の習得

【学習を振り返って考察する場面】



問い：「災害時の備えについて考え，タイムラインを作ってみよう。」

- マイ・タイムラインのシートに沿って災害時の備えについて考えるとともに，単元の学習を振り返って防災についての課題意識を高める。

ICT活用のメリット

- ワークシートを簡単に配布、共有
- 生徒一人一人の実態に応じた動画閲覧

みんなでタイムラインプロジェクト  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html>  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/index00000043.html>

【活用したソフトや機能】 ウェブブラウザ，表計算ソフト(マイ・タイムライン)